

令和8年度へ向けた改善方策

世田谷区立二子玉川小学校

校長 今福 眞和

教育目標	○強いからだで がんばる子 ○すすんで考え くふうする子 ○思いやりがあり 助け合う子	目指す 学校像	○素直な子どもを育てます。 ○子どものため 熱意ある指導を行います。 ○みんなの力で 子どもの育ちを支えます。
------	---	------------	---

○児童についての改善方針

学習	考察	学習に対する前向きな姿勢、主体的・協働的な学びは実践できている。振り返りに関しては課題がある。授業の充実に関して、教科担任制の効果は大きい。
	改善方法	「生きて働く知識・技能」の習得等、探究的な学びを実践する。各自の振り返りを、次の学びの課題として設定できるように支援する。教科担任制を継続する。
学校生活	考察	学校が楽しい、学校のルール、あいさつの意識は定着している。思いやりは高い水準で良好である。自分の良いところを知るについては、すべての児童に自己肯定感を持たせていく工夫が課題である。
	改善方法	「笑顔と元気と優しさあふれる学校」の理念を児童・教職員全員で認識し実践していく。二子玉川小「4つの約束」を継続して児童の学校生活の指針とする。校内ホットルームの活用を継続し、個に応じた指導体制を図っていく。
体力向上	考察	体育の授業に積極的に取り組んでいる。早寝・早起き、好き嫌いせず食べる習慣についても良好な傾向が見られる。休み時間の外遊びの促進が課題となる。
	改善方法	教科担任制の利点を生かし、体育の授業の充実を図る。生活習慣向上の意識を高める保健指導を継続する。外遊びを促進する環境整備や活動の工夫をしていく。

○保護者・地域についての改善方針

教育活動 と教職員	考察	自ら学ぶ授業実践、学校教育目標の認知度、教職員の教育活動、教科担任制の項目について、概ね良好な支持を得ている。改善の余地を感じている児童・保護者の声に耳を傾け、思いを真摯に受け止めながら教育活動を行っていく。
	改善方法	保護者・地域の声に耳を傾け、学校と家庭・地域の情報共有を進め、改善点を明確にし、共に子どもたちを支援する取り組みを実践していく。教科担任制を授業の充実とともに、学年チームで児童の支援に当たる意識を高め実践していく。
生活全般 の充実	考察	学校生活の楽しさは満足度が高く、継続していく。家庭で子どもの努力を認める文化が根付いている。タブレット使用ルールの徹底については課題となる。
	改善方法	学校生活の楽しさはさらに環境整備、活動内容の工夫を実践する。学校でのネットリテラシー、家庭でのタブレット使用のルールの啓発を協働して行っていく。
家庭・地域 との関わり	考察	地域人材や特色を活用した教育活動は評価を受けている。子どもプロジェクトの活動は支持的意見が非常に高く、良い方向に進んでいると評価されている。
	改善方法	生活科・総合的な学習の時間の授業では、児童からの要望を基本とし、地域との連携・協力を得ていく。子どもプロジェクトとの協働を継続する。